《撮影方法》（撮影は必ず本体を飛ばした状態で行ってください）
●カメラ電源ランプについて
・赤点灯：動画撮影スタンバイ状態　・赤点滅：動画撮影中　・緑点灯：静止画撮影スタンバイ状態　・緑点滅：静止画撮影
※本体の電源を入れるとカメラ電源ランプが赤に点灯し動画撮影スタンバイ状態になります。

《静止画撮影方法》
本体を飛ばして動画スタンバイ状態で静止画撮影ボタンを1回押します。すると静止画撮影スタンバイ状態に変わり電源ランプが緑に点灯します。静止画撮影スタンバイ状態で静止画撮影ボタンを1回押します。すると静止画が1枚撮影されます。静止画撮影スタンバイ状態で動画撮影ボタンを1回押すと動画撮影が開始します。

《動画撮影方法》（撮影された動画は音声がありません）※ノイズの影響で雑音が入る場合がありますが故障ではありません
本体を飛ばして動画スタンバイ状態で動画撮影ボタンを1回押します。すると動画撮影が開始します。撮影中はカメラ電源ランプ（赤）が点滅します。停止する場合は動画撮影ボタンを1回押します。カメラ電源ランプ（赤）が点灯に変わります。動画撮影スタンバイ状態で静止画撮影ボタンを1回押すと静止画撮影スタンバイ状態になります。
※着陸する前に必ず動画撮影を停止してください。着陸する際の衝撃により録画データが破損して保存できない恐れがあります。

《撮影したものを見る》
①microSDカードをmicroSD/USBアダプタに挿し込みます。向きに注意。
②microSDカードを挿し込んだmicroSD/USBアダプタをパソコンのUSB端子に挿し込みます。
③「リムーバブルディスク」内の動画もしくは静止画を再生して確認します。
※大事なデータはパソコンに随時コピーして保存することをおすすめいたします。

遊んだ後は

①本体と送信機の電源をOFFにします。　②送信機から電池を外してください。　③本体の電源接続端子A、Bを外します。
④異常個所や破損個所がないか、ゴミが絡まってないかチェックしてください。　⑤元通り箱に入れてください。

予備テールローターの交換方法　※破損したものは使用しないでください。

①破損したテールローターを垂直に引き抜きます。
②付属の予備テールローターを取り付けます。※奥までしっかり挿し込んでください。

仕　様

●対象年齢　：　15歳以上
●使用周波数帯　：　40MHz
●アクション　：　上昇・下降、左右旋回、前後進、ホバリング、動画撮影（音声無）、静止画撮影
●飛行時間　：　約8～10分
●操作距離　：　最大50メートル
●充電時間　：　約120分
※充電の方法について、取扱説明書の方法を絶対に守ってください。
●解像度　：　動画（AVI）：640×480ピクセル
静止画（JPEG）：640×480ピクセル
●飛行場所　：　屋内/外両用
●最大録画時間　：　（1G）20分、静止画（1G）5000枚
●電源　：　（本体）リチウムイオン充電池（内蔵）
（送信機）単3アルカリ電池×6本（別売）
※送信機の電池は単3アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。また粗悪な電池も使用しないでください。
※電池は正しくセットし、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。
※飛行時間、充電時間はあくまでも目安です。使用状況によって変わります。

アフターサービスについて

故障かな?と思ったら／アフターパーツ（別売部品）の販売／修理については下記カスタマーサポートへ電話、FAXもしくはメールでご相談ください。

製品サービス保証書

■無料修理規定
1. 取扱説明書等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社カスタマーサポートへ必要事項を記入した保証書を添えて製品をお送りください。
3. ご贈答品、ご転居等で購入先がご不明の場合は株式会社トーコネにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害や異常電圧による故障及び損傷
（ニ）本書の提示がない場合
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、或いは字句を書き換えられた場合
（ヘ）ご使用による汚れ
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。　This warrnty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※お客様にご記入頂いた個人情報（保証書記入内容）は、保証期間内の無料修理対応及び安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

製品名		型　番	
販売店名		お買上げ日	年　月　日

保証期間：お買い上げ日より３ヶ月　※ご記入のない保証書は無効となり、無料修理はできなくなります。

ふりがな		E-MAIL	
ご氏名		ご住所	〒

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。保証書は必ず「販売店名」「お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より3ヶ月です。

株式会社 トーコネ　カスタマーサポート
〒175-0094 東京都板橋区成増 5-23-11
TEL:03-3939-4693（代表）　FAX:03-3939-9427（代表）
メール:trading@to-conne.co.jp
ウェブ:http://www.to-conne.co.jp/
営業時間：平日9時～12時/13時～17時

極空 Gocoo Black Spy 取扱説明書

対象年齢 15歳以上　屋内/外両用

ご使用していただく前に

●この取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全に遊んでください。●取扱説明書は大切に保管してください。
●ヘリコプターを飛ばす前に必ず付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を厳守してください。
●ヘリコプターの操縦は、飛ばす時の状況や操縦者のミスなどにより他人に怪我をさせたり物を壊してしまうなどの予期せぬ事故が起こる可能性があります。ぜひ、お客様が事前に個人賠償責任保険などにご加入のうえ、お遊びいただくことをお勧めします。詳しくは一般の保険会社にお問い合わせください。

⚠ 注　意

●墜落や衝突による破損、水没、紛失、事故、怪我などには十分注意してください。
・操作ミスで墜落や衝突により破損した場合、修理費用はお客様のご負担になります。飛行中または落下などによる、器物の破損や人身への事故への保障は一切いたしません。また飛行されたあとの機体の破損等は保証対象外となります。
・水没、紛失、怪我、事故、トラブルについて当社は一切の責任を負いません。

●プロペラは高速で回転するため、目などに当たると失明などの危険があります。
飛行させる場合、飛行させる範囲に人がいないことを確かめてから操縦を始めてください。

《高速で回転するローターは怪我をする危険があります。》
●ローターは高速で回転するため、目などに当たると失明などの危険があります。飛行させる場合、飛行させる範囲に人がいないことを確かめてから操縦を始めてください。
●ローターに指や髪の毛、衣服などが巻き込まれないように注意してください。巻き込まれた場合怪我をする危険があります。
●幼児や小さいお子様の手の届くところで操作しないでください。回転するローターで怪我をする危険があります。
●こどもが近寄らないよう注意してください。

《内蔵されているリチウムイオン電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火などの可能性があります。重大な事故の原因となりますので下記の事項に注意してください。》
●充電方法や充電時間は、取扱説明書に記載されている方法を厳守してください。
●ショートさせたり、分解・改造したり、火の中に入れないでください。火災、怪我、思わぬ事故の原因になります。
●充電は充電時間を厳守し、長時間放置せず目の届く、燃えやすい物の無い場所で行ってください。
●火気の近く、直射日光のあたる場所、高温多湿になる場所、車中での充電・保管はしないでください。
●充電中に下記の異常が起きた場合は、すぐに充電をやめコード類を外した上で、カスタマーサポートまでご連絡ください。
・異常に熱くなる、異臭・煙が出た、バッテリーまたは本体が膨らんだ、コード類が溶けた
●万一、電池からもれた液が目に入った場合はすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服についたときは水で洗ってください。
●水に濡らしたり、過熱や火の中に投入したり、分解改造は絶対にしないでください。過熱、発火、火災の原因となります。
●充電が完了したら、充電コネクターを本体から外してください。
●使用後は必ず電源スイッチをOFFにしてください。ONのままにしておくと内蔵電池に悪影響を及ぼし、充電できなくなることがあります。また、思わぬ事故の原因になる恐れもあります。
●幼児や小さな子供の手の届くところでは充電しないでください。
●充電中は叩いたり、落としたりの衝撃を与えないでください。

《送信機に使用する単3アルカリ電池を誤使用すると、発熱・破裂・液漏れの危険がありますので下記の事項に注意してください。》
●電池は正しくセットし、新旧の電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使用しないでください。長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。
●送信機の電池は単3アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。また粗悪な電池も使用しないでください。
●電池の+・ー（プラス・マイナス）を正しくセットしてください。
●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
●使用した後は必ず電源スイッチをOFFにし、電池を外してください。電池の消耗や思わぬ事故の原因になる恐れもあります。

《思わぬ事故の元になりますので、下記に注意してください。》
●使用前に必ず本体、送信機に破損個所がないか確認してください。破損した状態では飛ばさないでください。
●本体や送信機の分解や改造をしないでください。また異物を入れないでください。
●誤作動を防ぐため、電源は必ず飛行させる直前に入れ、それ以外の時は必ず電源をお切りください。
●対象年齢未満の子供のいるところで使用しないでください。また、対象年齢未満の子供に使用させないでください。思わぬ事故・怪我をするおそれがあります。
●操縦中は腰掛けたり、寝転んだりせず、何かあったらすぐに動ける体勢で操縦してください。
●落としたり、衝撃を与えないでください。また、各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
●使用した後は、必ず小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
●夏場の締め切った車の中などの高温になるところでの保管は絶対にしないでください。またヒーターなどの温風が出るところに置かないでください。
●破損したローターで使用しないでください。破損したローターは接着しての使用はできません。
●ローターに無理な力が加わった状態で動作させないでください。故障の原因になります。

《その他の注意》
●飛行中は本体から目を離さないようにしてください。
●気温の低い時は充電池の性能が落ちることがあります。できるだけ暖かい場所で遊んでください。
●飛行時に本体、ローターが家具や壁にぶつかりそうになったら操作を中止してください。
●初心者の方は必ず送信機の操作に慣れた上で、低い高さで充分練習をしてください。
●送信機や機体の電池が消耗すると、制御できる距離が短くなったり、正しく飛行できなくなります。速やかに充電、電池を交換してください。
●気温5℃以下の場所では使用しないでください。充電池の性能が十分に発揮されず、正常な操作ができないおそれがあります。
●破損・変形を防ぐため、運搬時や長期保管するときは電池を抜き、バッケージにいれて保管してください。
●機体は風の影響を非常に受けます。風のある場所では流されたり正常に飛行できません。

飛ばす場所について
●周囲に破損しやすいものがある場所や、人がいる場所では飛ばさないでください。
●道路、線路、空港、電線の近くなど危険な場所では使用しないでください。屋外では安全な場所を選んで使用してください。
●電線にからんだ時は電力会社や駅などに相談してください。感電の危険がありますので絶対に自分で取ろうとしないでください。
●人がたくさんいる場所、家屋が密集している場所、道路などでは飛ばさないでください。怪我をさせたり、事故を起こす危険があります。

●風のある日は、流されて墜落・破損や紛失のおそれがありますので飛行させないでください。
●風のない穏やかな日に遊んでください。雨天・降雪・雷の天気には絶対遊ばないでください。
●屋外での使用中に雷が鳴り出したらすぐに使用を中止してください。落雷の危険があります。
●近くで同じ周波数を使用して他の人が遊んでないか確認してから遊んでください。
●周囲に川や沼あるいは背の高い花が生い茂ってるような場所は避けて、万が一風にながされても安全な場所を選んでください。水没・紛失の可能性があります。
●高い建物や樹木のそばでの飛行は避けてください。乱気流が起こる可能性があります。
●地面が草地のような柔らかい場所を選んであそんでください（墜落時ダメージを軽減できます）
●風がない場所を選んで遊んでください。地上では無風でも上空では強風の場合がありますので気をつけてください。
●上昇気流が強すぎると下降しにくく、高度を上げ過ぎると操作不能になります。
●気温の高い無風時には強い上昇風が発生する場合がありますので注意してください。
●斜面や土手などでも、下からの風で上昇風が発生する場合がりますので注意してください。

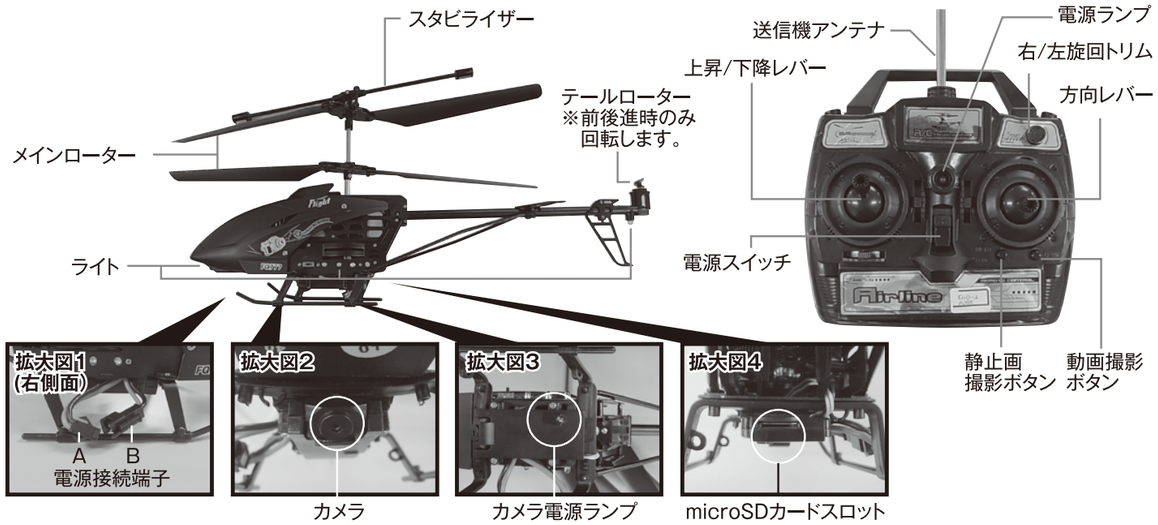
電波について

●周囲でラジオコントロールの車・ヘリ・飛行機・ボートなど使用されていないことを必ず確認してください。電波が混信して操作できないことがあります。
●ラジオコントロール製品以外の電波でも誤動作する場合があります。その場合、場所や時間を変えて飛行させてください。
●電波が届く範囲を超えて飛行させた場合は、操作不能になり墜落しますので十分注意してください。
●場所によって電波の状況が悪い場合があります。

セット内容

●本体×1　●送信機×1　●送信機アンテナ×1　●ACアダプタ×1　●取扱説明書兼保証書　●予備テールローター×1
●1GBmicroSDカード×1　●microSD/USBアダプタ×1

各部の名称



送信機のセット方法

①送信機の電源スイッチをOFFにします。
②ドライバーで電池カバーのネジを緩めてカバーを外します。
③単3アルカリ電池を電池の向き（プラス・マイナス）を確かめて正しく入れてください。
④電池カバーを取り付けてネジを締めます。
⑤アンテナを送信機のアンテナ穴に入れて時計回りに回して締めます。※強く締めないでください。
⑥操作する時はアンテナを最長まで伸ばしてください。

充電方法

※遊んだ直後は電池が熱いので30分以上時間をあけてから充電してください。
①本体の電源をOFFにします。
②本体の電源接続端子A、Bを外します。
③ACアダプタのプラグを電源接続端子A（ジャック）に挿し込んで接続します。
④ACアダプタをコンセントに挿し込みます。
⑤約120分で満充電になります。
⑥充電完了後はACアダプタをコンセントから抜き、ACアダプタのプラグを電源接続端子Aから抜いてください。
※充電完了後電源を入れる際には電源接続端子A、Bを接続する必要があります。

《本体に使われているリチウムイオン電池の充電、保管について》

●充電は充電時間を厳守し、長時間放置せず目の届く、燃えやすい物の無い場所で行ってください。
●充電中に下記の異常が起きた場合は、すぐに充電をやめコード類を外した上で、カスタマーサポートまでご連絡ください。
・異常に熱くなる・異臭、煙が出た・バッテリーまたは本体が膨らんだ・コード類が溶けた

●充電中は叩いたり、落としたりの衝撃を与えないでください。
●直射日光の当たる場所、高温になる場所、車中での充電、保存は絶対にしないでください。また、本体を水や火の中に入れたり、分解、半田付けは絶対にしないでください。
●長期保管の際には電源接続端子A、Bを外して常温で、湿気のない安全な場所に保管してください。

《リチウムイオン電池の上手な使い方》

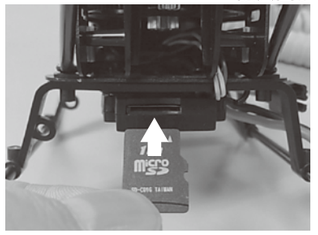
●リチウムイオン電池は過放電させると使用できなくなりますので以下のことに気をつけて過放電しないように注意してください。
・上昇/下降レバーを上げても上昇できなくなったら飛行をやめ、充電してください。
・充電してあっても少しずつ自然に放電してしまいますので、長時間使用しないで保管する場合は時々充電して完全に放電させないようにしてください。
●寒いところでは、バッテリーの性能が低下し、使用できる時間が短くなったり、十分な出力が得られないことがありますので、暖かいところで使用してください。
●飛行後電池がない状態で保管しないでください。少し充電してから保管してください。

飛ばす前に

《飛行環境と注意》

●周囲に人や壊れやすい物等、障害物が無い、動きやすい場所を選んでください。
●本体は必ず水平な位置に置いてください。　●飛行中は本体から目を離さないでください。
●送信機のレバー操作は常に少しずつおこなってください。
※急な操作は本体のバランスをくずします。　※上昇より下降が難しいです。ゆっくりレバーを操作してください。
●落下した時はすぐに上昇/下降レバーを一番下に下げて送信機の電源をOFFにしてください。
●風の影響を強く受けますのでエアコン等を切り、無風状態で飛行させてください。
●風の無い場所を選び、高度は2m程度に押さえましょう。

拡大図5



《microSDカードの装着/取出し方法》

※出荷時付属のmicroSDカードは本体にセットされています。
①microSDカードを右図のような向きでmicroSDカードスロットに挿し込みます。
②奥までしっかり挿し込むと「ガチッ」と音がします。
③取出す時はmicroSDカードを1回押し込むと「ガチッ」と音がして出てきます。

操作方法

《電源の入れ方》　まず本体の電源から（本体の電源を入れた後送信機の電源を入れてください。）
①電源接続端子A、Bを接続します。　**拡大図1**
②電源スイッチをONにします。
次に送信機の電源（送信機の電源を入れる前に必ず本体と十分安全な距離を取ってください。）
①上昇/下降レバーを一番下まで下げます。
②電源スイッチをONにします。
③電源ランプが点滅します。
④上昇/下降レバーを一度上げてから下まで下げます。電源ランプが点灯に変わり本体の操作が可能になります。
※ローターの吹き降ろし風とは・・・地面から30㎝位までの高さでホバリングする場合、機体のローターから吹いた風の影響を受けてふらふらします。
地面効果と言って、風の影響を受けやすいので注意が必要です。

《トリム調整の仕方》　※まっすぐ飛ばすために調整します。
●本体を平らな場所に置き本体後部が操縦者に向くようにしてください。
●送信機の上昇/下降レバーをゆっくりと少しずつ上げて本体を離陸させてください。
●本体を1mぐらいの高さで飛行させて本体を安定させてください。
本体が右に旋回してしまう場合：送信機のトリム調整ダイアルを左に回して調整します。
本体が左に旋回してしまう場合：送信機のトリム調整ダイアルを右に回して調整します。
操作ミスにより破損した場合、修理費用はお客様のご負担になりますので予めご了承ください。慣れないうちはあまり高く飛行せず、1.5m位の高さで下に柔らかい物を敷くなどして練習をして一通りの操作ができるようになってから徐々に高さを上げてください。

上昇：上昇/下降レバーを上げます。　**P4図❶**
下降：上昇/下降レバーを下げます。　**P4図❷**
ホバリング：上昇/下降レバーを調整して高度を一定に保ちます。以後の動作はこの状態を基本とします。
前進：ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ上げます。　**P4図❸**
後進：ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ下げます。　**P4図❹**
左旋回：ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ左に倒します。　**P4図❺**
右旋回：ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ右に倒します。　**P4図❻**